

第3回リフレかやの里官民対話 協議内容

日時	令和6年5月22日（水）14時00分～15時30分
場所	加悦庁舎2階 会議室
参加者 （敬称略）	(株)合縁奇縁 代表取締役 中本裕之 対話アドバイザー：三交興業(株) 営業推進部長 西野彰二（オンライン参加） 対話アドバイザー：与謝野町観光協会 会長 安達幸三 農林環境課 課長 三田大智 農林環境課 主査 森岡佳祐
司会（進行）	三田大智

会議の目的 （ゴール）	・運営方針の決定と対話スケジュールの共有
----------------	----------------------

◇協議内容（主な意見）

1.運営内容について	● 会員制、企業研修、合宿の3つを軸に運営していきたい。構成員は代表の決定に従うと言っている。当初の計画は、会員制と一般顧客の利用を想定して作成しているため、これから3つの軸の計画となっても当初の予算、計画と大きく変わることはないと思う。（(株)合縁奇縁） ● 前回の協議時に、アドバイザーから顧客ターゲットについて指摘があったがどのように考えておられるか。（町） ● 近隣の企業の協力を想定している。しかし、リフレかやの里の運営権が確定していない中で、顧客収集の営業は難しい。弊社に運営が決定すれば顧客の収集に動く。その際は、アドバイザーの協力を得たい。（(株)合縁奇縁） ● 顧客の想定がないと審査ができない。仮に事業スキームが完成しても、顧客ターゲットの疑義について答えが出せない。（町） ● 会員制や合宿の顧客を確約する必要があるのか。（(株)合縁奇縁） ● 確約はできないと思われるので、あくまでターゲットとなる。（町） ● (株)王宮の橋本氏はどの程度関わってくれるのか。業務提携のような形はあり得るのか。（町） ● 業務提携はどの程度の提携が必要か。（(株)合縁奇縁） ● コンサルタント契約だったと思うが、ある程度のところまでの関わりか、経営の最初から最終まで関わりがいただけるのかどうかという点を知りたい。（アドバイザー）
------------	--

	● 橋本氏は途中で投げ出すタイプではない。私が次に何をしたらいいかわかってなかったのをお願いできなかった。コンサル料を支払い深く関わってもらうことを想定している。業務提携の話は橋本氏に相談する。(株合縁奇縁) ● 民間事業者側からすれば、運営の確約がない中で、人にものを頼めないし、中途半端なお願いはできない。ただし、町は議会を通さなければならない。運営が決まった体での資料が、議会の審議のために必要になってくる。そこに橋本氏の提携具合等を含めた事業スキームが構築できれば、より議会が通りやすいのでは。(アドバイザー) ● 事業スキームが完成し改修が必要との判断を町がすれば、それに対し公費の投入は考えられる。ただし議会の審議が必要。施設の維持が可能かつ指定管理で運営していた時期より公費が抑制できるのであれば、(株合縁奇縁)に運営してもらってもよいのではという流れになると思われる。(町) ● (株合縁奇縁)の有利な点は、施設譲渡が可能という点。譲渡は町に大きなメリットをもたらす。譲渡前提の事業スキームができれば有利に働く。(町)
2.対話スケジュールについて	● かしこまった形の協議だとなかなか進まない。今回はざつくばらんにお話したいと思い、この場をセッティングしていただいた。業界に関することで橋本氏が知らない部分を私や安達氏が知っていることをお伝えすることができるし、なんなら経営資料を作ってあげてもよいと思っている。これが町と提案者双方にとって良い形かと思う。私が出しているノウハウを提供して、伴走支援という形で貢献できればと思っている。(アドバイザー) ● 私と(株合縁奇縁)の2者で随時オンライン会議や打ち合わせをしてもよいと思っている。(アドバイザー) ● ありがたい。わからないことが多くあるので教えていただきたい。(株合縁奇縁) ● 常任委員会では進捗の遅さを指摘されている。このような場ではなく両者の都合が合う日で協議していただいてもよい。ただし、情報共有はお願いしたい。(町) ● 事業スキームが想定できれば、改修の概要が見えてくる。それをどう実行するのか、公費の想定を町は考えなければならない。また、対話の期間は、施設の老朽化があり1年が目標。スピード感をもって取り組みたい。(町) ● 年内に事業スキームが完成するのであれば、令和7年度の国府の補

	助事業の活用が考えられる。国府の補助事業を使うことは、提案者も町も財政負担が軽くなるのでよいこと。うまくいろいろなものを活用できれば。（アドバイザー） ● 対象となる補助事業はアップグレード部分に使っていければと思う。町は施設の再開ができるようにお渡しする。町が実施する部分と補助事業を活用する部分を明確にできれば。（町） ● 9月議会で事業スキームの方向性を地元、議会に説明したい。12月議会では事業スキームの公表がしたい。もし提案されている2つの事業スキームが成り立たないのであれば、令和7年度の再開としているため12月議会では次の案を提示する必要がある。（町） ● 民間事業者は長期間ひっぱられても困ると思う。7月下旬には方針を決めないといけない。そこから9月議会にむけて詳細な資料作成に動いていければ。（アドバイザー） ● 町の検討チームで同様の意見があった。そのスケジュール感で動いていきたい。（町）
--	---

次回の日程と論点	開催日（予定）：令和6年6月下旬 ■ 論点 事業スキームの確認と課題整理
----------	---

資料	—
----	---